

**地滑り対策等説明会**  
復興に向け前進しています

5月12日、向寺自治会館で「葉ノ木平地区の地すべり対策等説明会」が行われました。  
県では災害関連緊急地すべり対策事業として、今回の地震で崩落した山林の法面を整え、排水路を設置する工事を実施します。6月から地質調査に入り、10月に着工予定です。また、これにあわせ市では、流出した土砂の搬出を8月中旬から実施します。両工事とも来年3月の完了を予定しています。



▲説明会であいさつする市長

**二ノ丸茶屋が開店**  
観光とこだわりの食を楽しむ

4月28日、城山公園内に飲食と特産品販売コーナーを設けた「二ノ丸茶屋」が完成し、開店披露式が行われました。  
茶屋は(株)白河観光物産協会直営の「二ノ丸売店」を改修したもので、店舗面積は70㎡。食品や工芸品を販売するほか、玉露・白茶などの本格茶やクリームあんみつなどこだわりの甘味が楽しめます。営業時間は午前10時から午後5時30分までとなります。



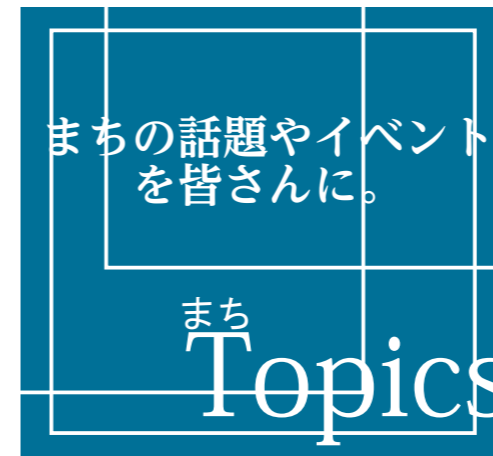
▲テープカットを行う関係者

**中心市街地活性化事業ミニコンサート**  
3か月ぶりにまちなかに演奏響く

5月22日、JR白河駅「えきかふえ SIRAKAWA」で、震災により中止されていた中心市街地活性化事業ミニコンサートが約3か月ぶりに開催されました。  
今回のバンドは「フォアローゼス」。ベンチャーズ・寺内タケシ・演歌など幅広い音楽で観客を魅了しました。今後、同コンサートは、毎月1回開催され、次回は6月19日午後3時に、はくしんイベントホール(旭町)で「鬼灯」の出演が予定されています。

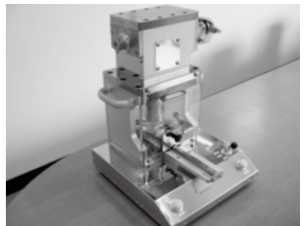


▲懐かしの曲で観客を魅了



**エコー電気(株)が白河進出**  
良いものづくりに励み、本市に根付いた企業を目指す

4月27日、エコー電気(株) (宮坂静子社長) が新夏梨に進出決定し、鈴木市長を表敬訪問しました。  
宮坂社長は「今後、良いものづくりに励むと共に、白河市に根付いた企業になるよう努力したい」と話し、鈴木市長は「この度の原発事故により苦渋の選択をされ、白河市へ進出を決められたことに感謝したい。研究開発型の企業の事業活動に支障がないように最大限協力したい」と歓迎の意を表しました。  
同社は、昭和34年創立で、川俣町(本社工場)・広野町に工場を有し、工業用テープ製品や基板外観検査機を開発・製作する企業です。資本金は2,650万円、従業員数は43人。今後は医療関係の研究開発を進めるなど、本市産業の発展に大きく期待されます。



▲カパースリップ打ち抜き装置

**交通安全教室**  
事故の恐ろしさを実感

4月26日、白河南中で、スタントマンに交通事故を再現してもらい、事故の恐ろしさを知ってもらう「交通安全教室」(JAしらかわ・白河警察署主催)が開催されました。この教室は、事故の恐ろしさを直接見ることで事故につながる行為を抑える「スケアード・ストレイト」という学習法で、ふざけて走行している自転車が乗用車に追突される様子に、生徒は釘付けになっていました。



▲スタントマンが実際の事故を再現